

教育目標

I 本校の教育目標

国際社会に貢献し、未来をたくましく生きる「知・徳・体」の調和のとれた人間性豊かな子どもを育成する。

○ 校訓

「よく学び よく遊べ」

○ めざす子どもの姿

- ・生涯にわたって学び続ける子
- ・人や物を大切にする子
- ・健康な体と心を育む子
- ・失敗を乗り越えるたくましい子

2 経営方針

I 子どもの「生きる力」を磨き深める学校

II 安心・安全な学校づくりを推進する学校

III 信頼される教職員集団であり続ける学校

3 本年度の重点努力目標

I 子どもの「生きる力」を磨き深める学校

<確かな学力>

- ① 地域の「人・もの・こと」とのかかわりや体験的活動を位置づけ、地域の教育力を活かした授業・活動を推進する。
- ② 子どもが学習したことを教えたり、話したりする場を積極的に設けることで、知識を整理し、定着を図る。
- ③ 学習等の目標を明確にし、成果を振り返ることで、学習等の連続性を確保し、自らの成長を実感できるようにする。

<豊かな人間性>

- ① 係活動や当番活動を充実させて、責任感や自己有用感を高める。
- ② 子ども主体の行事・イベント等の実践による成功体験を通して、子どもが達成感や成就感を味わう機会を創出する。さらに、同学年や異学年の友達や地域のかたとの交流により、人とかかわるよさを実感する子どもを育てる。
- ③ 図書室の充実や読書指導により、読解力や想像力、共感力や他者理解力高める。

<健やかな体>

- ① 外遊びの励行や運動に親しむ環境整備等により、子どもの体力向上と健康維持を図る。

II 安心・安全な学校づくりを推進する学校

- ① 子ども一人一人を大切に、友達関係に配慮した指導を行う。
- ② 多様な価値観や個性を認め合い、相互理解を深め、人権を尊重する関係を構築する。
- ③ 共感的に子どもの話を聴くなど、子どもの思いに寄り添った適切な対応を行う。
- ④ いじめアンケート等の活用や日頃の児童観察を通して、問題の早期発見・早期対応を図る。
- ⑤ 避難訓練を通して、危険を予測し、回避できる子どもを育てる。
- ⑥ 学校の実態や状況に応じたマニュアルの見直しを行い、校内研修を通して教職員が自分の役割を理解する。

III 信頼される教職員集団であり続ける学校

- ① 現職研修や公開授業、学年団の相互支援の充実による授業力や担任力の向上を図る。
- ② 子どもを丁寧に捉え、保護者との連絡を速やかに行うことで、気軽に相談し合える関係を構築する。
- ③ 子ども理解を深め、アンガーマネジメントを意識して、子どもに寄り添った指導を行う。
- ④ ホームページや学級通信、連絡帳等を通して、学校の様子を積極的に情報発信する。
- ⑤ コミュニティ・スクールを活用して、地域に開かれた学校づくりに努めるとともに、学校と一体となって子どもを育てる意識を地域に涵養する。
- ⑥ 支え合う人間関係の中で、職員個々のタイムマネジメント意識を高め、メンタルヘルスにつなげる。